

## アゼルバイジャン

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.07	0.17
	研修員受入 (人)	6(新規)+0(継続)	11
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対アゼルバイジャンODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力  
0.06  
(100%)

## ブルガリア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.48	4.27
有償資金協力 (億円)		80.36	128.68
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	9.78	26.41
	研修員受入 (人)	56(新規)+4(継続)	225
	専門家派遣 (人)	10(新規)+0(継続)	47
	調査団派遣 (人)	116(新規)+0(継続)	256
	協力隊派遣 (人)	19(新規)+24(継続)	50
	単独機材供与 (100万円)	1.96	58.37
	開発調査 (件)	4	6
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1

わが国の対ブルガリアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

— 無償資金協力 0.48 (5.0%)

技術協力  
9.06  
(95.0%)

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
農業改善計画	ブルガリアでは1991年10月の共産党の独裁体制の崩壊に伴い、経済改革計画が策定され、農業分野に関しては91年2月に農用地所有・利用法が施行され(92年4月改正)、農用地の旧所有者への返還・私有化が進められている。しかし、市場経済化以降、農業生産額は年々低下しており、92年には91年に比べ約13%減少したため、ブルガリア政府が選定したベトリッチ地区、ロシツァ地区、スレドナ・ツンジャ地区を中心に調査を行い、それらの地区より1カ所をパイロット地区として選定し、同国の実情に即した包括的な農業改善計画を策定する。95年度は、95年9月に事前(予備)調査を実施し、さらに96年1月に事前調査(実施細則協議)を行い、1月16日に実施細則に署名した。	農業省	

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
鉄鋼産業再構築および近代化	ブルガリアの鉄鋼産業は、国内経済の落ち込みや国際市場の喪失のため衰退をみせ、国家経済に重大な影響を与え始めている。また、同産業に起因する環境汚染問題も深刻化しており、早急な改善が求められている。そこで本件では、ブルガリアの鉄鋼産業の現況を把握し、鉄鋼産業の開発促進を目的とした将来計画の策定を行い、あわせて同計画に基づく各製鉄所の近代化に関する基本的な提言を含めたマスタープランを策定する。1995年度は、94年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	産業省国営企業調整局	川崎製鉄(株) 住友金属工業(株) (株)神戸製鋼所

● エネルギー分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
省エネルギーセンター (当初F/D協力期間) 95.11.1~2000.10.31	94	事前調査	94年度までの 累 計		0	2	0
			95年度	新規	7	0	3,343
	継続	0		0			
		95	実施協議				

〈要請背景〉  
エネルギー資源に乏しくその供給の多くを旧ソ連圏からの輸入に頼ってきたブルガリアでは、コメコン体制の崩壊により輸入エネルギーを国際価格で購入せざるを得なくなったことから、1990年以來エネルギー価格が急騰し、産業活動活性化の障害となっている。

〈目標と期待される成果〉  
ブルガリア産業省内に省エネルギーセンター(EEC)を設立し、同センターが、独力でブルガリアにおける有効な省エネルギーに関する施策の提言および産業界の省エネルギー技術の指導を行うことができるようになることを目標としており、ブルガリア産業界におけるエネルギー消費の改善が期待される。

〈協力活動内容〉  
省エネルギーに関する以下の活動を行う。  
(1) 工場診断および改善指導コンサルティング  
(2) 情報利用  
(3) 施策提言  
(4) 広報

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
マリツツアイスト第1 火力発電所性能改善・環 境保全再建計画	ブルガリア唯一の原発が稼働停止の可能性があることから、同発電所第5、6号機の撤去跡地に、隣接する炭鉱からのリグナイト炭を用いて新発電設備を建設するためのフィージビリティ調査を行う。1995年度は、予備調査、詳細調査、フィージビリティ設計の一部を終了し、着手報告書、進捗報告書、中間報告書を作成し、ブルガリア政府に提出した。	国営電力会社	電源開発(株) 東電設計(株)

ブルガリア◎ヨーロッパ等

● 保健医療分野 ●

.....  
 機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
泌尿器疾患検査用機材	一式	1,962	保健省メディカルアカデミ ー	一般単独機材	研修員受入

○ サイパス

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費 (億円)	0.12	0.68
	研修員受入 (人)	3(新規)+1(継続)	27
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国対サイパスODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.11 (100%)
------------------------

## チェッコ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0.49	1.90
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.30	2.24
	研修員受入	(人) 19(新規)+0(継続)	84
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	3
	調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	0
	開発調査	(件) 0	0
	プロジェクト方式技術協力(件)	0	0

わが国の対チェッコODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 2.42 (100%)
------------------------

## グルジア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力		(億円) 0	0.39
有償資金協力		(億円) 0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.07	0.21
	研修員受入	(人) 6(新規)+0(継続)	14
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	0
	開発調査	(件) 0	0
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

わが国の対グルジアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.09 (100%)
------------------------

## ギリシャ

(予算年度)

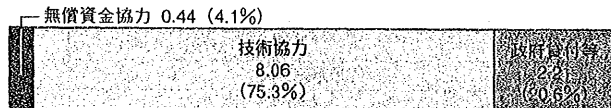
		1995年度	1995年度までの累計
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.12	3.31
	研修員受入 (人)	0(新規)+1(継続)	27
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	8
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	41
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	1
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

## ハンガリー

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.50	2.27
有償資金協力 (億円)		0	49.14
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	5.79	33.28
	研修員受入 (人)	41(新規)+0(継続)	527
	専門家派遣 (人)	12(新規)+3(継続)	28
	調査団派遣 (人)	44(新規)+0(継続)	210
	協力隊派遣 (人)	9(新規)+18(継続)	34
	単独機材供与 (100万円)	57.25	132.25
	開発調査 (件)	4	6
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1

わが国の対ハンガリーODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 計画・行政分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
シャヨバレー地域大気汚染対策計画	<p>主要な工業地帯のひとつであるハンガリー東北部のシャヨバレー地域は、工業活動に加え、自動車、冬期の石炭暖房により、国内で最も汚染度が高い地域のひとつである。本件は、ハンガリー政府の要請に基づき、同国のシャヨバレー地域を対象として地域の社会経済活動と大気質の関係の調査・解析を行い、同地域の総合的な大気汚染対策計画を策定するものである。1995年度は、シャヨバレー地域大気汚染対策計画調査に関し技術移転セミナー(ワークショップを含む)を実施した。</p>	環境保護・地域政策省	㈩パシフィックコンサルタンツインターナショナル ㈩日本環境アセスメントセンター

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
バラトン湖環境改善計画	<p>本件調査は、ハンガリー最大の湖であるバラトン湖を対象に、同国政府策定の「バラトン湖アクションプラン」を踏まえた総合的な環境改善計画を策定することを目的とする。1995年度は、ハンガリー政府の意向、実施能力、他援助機関の動向およびわが国に期待される要請内容等を把握するために、事前調査(予備調査)を実施した。</p>	首相府バラトン湖対策室	

● 鉱工業分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態	専門家派遣(人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)	
生産性向上プロジェクト (当初R/D協力期間) 95.1.1~99.12.31	93	事前調査	94年度までの 累 計	6	0	5,919
	94	長期調査		新規	10	
	94	実施協議	95年度		3	0
	95	計画打合せ		継続		

<要請背景>

コモコン市場の崩壊後、社会主義のもとにあったハンガリー経済は、国営企業の民営化を推進し、市場経済の導入を進めている。ハンガリーは国際市場においてすでに獲得している市場を保持するこ

ギリシャ/ハンガリー◎ヨーロッパ等

とはもちろん、そのシェアを拡大し、さらにEU諸国をはじめとする新しい市場を獲得していかなければ存続していくことが不可能である。そのためには同国の企業の生産性を向上させ、製品の品質を改善していく必要がある。

こうした課題を解決するため、ハンガリー工業・商業省は、1993年6月「ハンガリー生産性センター」設立についてフィージビリティ調査を実施し、その結果、93年11月、経済閣僚会議に対し同センターの設立を提案した。その後、93年12月の閣議で、設立が承認された。

その一方でハンガリー政府は、日本の工業分野における生産性向上の経験を導入し、このセンターを通じ、ハンガリー国内で生産性運動を展開するため、技術協力を日本政府に要請してきた。

<目標と期待される成果>

カウンターパートが生産性向上活動を行うことができるようになる。

<協力活動内容>

- (1) 生産性向上活動を指導するカウンターパートを養成する。
- (2) カウンターパートの養成を通じ、生産性向上活動の指導者、普及員を養成する。

## 開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
自動車部品企業リストラクチャリング計画	ハンガリーでは、外資の導入によって自動車産業が成長しており、それに伴う自動車部品産業の育成が急務とされることから、国有の自動車部品企業IKARUS Parts Manufacturing Ltd. (IMAG社)の生産ライン、生産管理の改善・近代化計画を策定するものである。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、着手報告書、進捗報告書を作成し、ハンガリー政府およびIMAG社に提出した。	工業・商業省	テクノコンサルタンツ(株)

## ● エネルギー分野 ●

## 開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ボルショド発電所性能向上・環境保全再建計画	ハンガリーのシャヨバレー地域にあるボルショド火力発電所は、当地域最大の大気汚染源となっているとともに、施設の老朽化に伴い発電効率が悪くなっている。本件は、ボルショド火力発電所の既存ボイラーの改造および150MW発電ユニット1基の新設に対するフィージビリティ調査を実施するものである。1995年度は予備調査段階を終了し、着手報告書を提出した。	工業・商業省 環境保護・地域政策省	(株)パシフィック コンサルタンツ インターナショナル (株)日本環境ア セスメントセ ンター



● 保健医療分野 ●

.....  
 機材供与事業

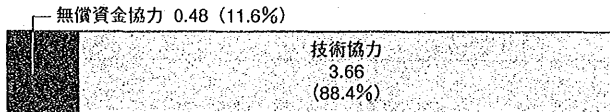
案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
循環器疾患診断用機材	一式	57,246	文化教育省セメルワイズ医 科大学	一般単独機材	研修員受入

○ **カザフスタン**

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力	(億円)	0.49	0.97
有償資金協力	(億円)	72.36	72.36
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費	(億円)	4.71
	研修員受入	(人)	20(新規)+1(継続)
	専門家派遣	(人)	0(新規)+0(継続)
	調査団派遣	(人)	75(新規)+0(継続)
	協力隊派遣	(人)	0(新規)+0(継続)
	単独機材供与	(100万円)	0
	開発調査	(件)	5
	プロジェクト方式技術協力	(件)	0

わが国の対カザフスタンODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



カザフスタン ● ヨーロッパ等

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
西カザフスタン道路の整備	カスピ海沿岸の西カザフスタン地域は、道路網をはじめとする交通網の整備が国内で最も遅れている地域であるが、鉱物資源は豊富で農業に適した地域でもあり、開発ポテンシャルは非常に高い。また、この地域は、外資の導入による石油資源を基盤とした工業開発が進行中である。本件は、農業・鉱工業開発ポテンシャルの高い西カザフスタン地域4州における道路網整備戦略(目標年次:2010年)を策定するとともに、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を実施するものである。1995年度は、本格調査を開始し、道路網整備のマスタープランの策定と優先プロジェクトの選定を行い、中間報告書を作成し、提出した。	運輸通信省道路局	八千代エンジニアリング(株) (株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル
航空輸送事業総合開発計画	これまで計画経済のもとで実施してきたカザフスタンの航空事業は、不適切な料金体系、機材の老朽化、前近代的な航空設備など旧ソ連時代のソフト、ハード面での弊害が生じており、航空輸送量は1992年の時点で前年度比5~10%減少している。本件は、カザフスタン政府の要請に基づき、航空輸送事業総合開発計画を策定するとともに、優先順位の高い案件についてフィージビリティ調査を行うものである。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、着手報告書を作成した。	運輸通信省	(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
クジル・オルダ地区灌漑施設水管理改善計画	カザフスタン政府の要請に基づき、アラル海に注ぐシルダリヤ川の、1958年に建設されたクジル・オルダ頭首工より取水した左岸水路(取水能力220m <sup>3</sup> /s)による灌漑地域(約9万ha)の灌漑・排水施設、水管理システムおよび営農を改善し、生産効率を向上させるとともに、長期的にはアラル海への流量を確保して環境改善に資することを目的としたフィージビリティ調査を実施する。95年度は、事前調査を開始し、実施細則を締結した。	農業省	

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
非鉄金属産業振興計画調査	鉱業はカザフスタン国家経済の中核をなしており、今後の経済再建の鍵となっている。そこで、本件はカザフスタン経済の発展に寄与すべく、非鉄金属産業を振興するためのマスタープランを策定する。1995年度は、第2次現地調査までを実施し、進捗報告書の説明を行った。	工業商業省 地質・鉱物資源保護省 経済省	大手開発㈱
ジャマンアイバト・サマルスキー地域市場経済移行国支援資源開発調査	地質調査、地化学探査およびボーリング調査等により地域の銅資源賦存状況を把握する。1995年度は、ジャマンアイバト地区の鉱床評価を目的に、既存データをもとにした鉱量計算を行い、鉱石種および埋蔵量、品位を確認した。また、ボーリング調査を実施し、鉱石の産状を把握するとともに、選鉱試験を行い、総合分離浮選で銅精鉱の選鉱成績を得ている。また、サマルスキー地区については、地質省より調査地域から除外する旨の連絡があったため、同年8月調査中止を決定した。	地質・鉱物資源保護省	住鉱コンサルタント㈱

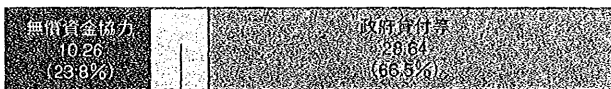
キルギス

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		15.90	26.40
有償資金協力 (億円)		0	96.27
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	3.68	11.31
	研修員受入 (人)	30(新規)+1(継続)	70
	専門家派遣 (人)	1(新規)+1(継続)	4
	調査団派遣 (人)	36(新規)+0(継続)	137
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	2	5
プロジェクト方式技術協力 (件)		0	0

キルギス◎ヨーロッパ等

わが国の対キルギスODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
工業開発計画	本件調査は、キルギスの地理的、政治的、経済的、歴史的環境と現実と立脚し、同国工業のとりべき方向を示すとともに、工業の開発重点分野の選定、基本的振興政策の提案、重点サブセクターの開発プログラムの策定等を含む工業開発マスタープランを策定する。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、着手報告書、進捗報告書、中間報告書を作成・提出した。	産業貿易省	ユニコインターナショナル(株) (財)国際開発センター
キルギスタラス地域資源開発調査	衛星画像解析、既存資料解析により地域の広域ポテンシャルを把握するとともに、地質調査、物理探査、ボーリング調査等により、クムイシュダッグ地区およびババハン地区の金属鉱物賦存状況を把握する。1995年度は、94年度の調査によりクムイシュダッグ地区から抽出されたシラルジン鉱床について地質調査を実施し、その概要を把握した。その結果、同鉱床は優質な含金石英脈からなることが確認された。	国家地質地下資源管理委員会	三井金属資源開発(株)

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
国立小児病院医療機材整備計画	保健省	ユニコインターナショナル(株)	95	5.32	95.8.16	95.4(本)	
<p>キルギスは、1991年の独立までは、難病・重傷患者をモスクワなどに移送して治療していたが、独立後は自国で治療せざるを得ない状況にある。特に乳幼児死亡率が上昇していることから、首都ビシュケク市に小児医療のトップレベル病院を整備するための医療機材を購入する。</p>							

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		10.50	10.50
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.67	1.03
	研修員受入 (人)	10(新規)+0(継続)	19
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	10(新規)+0(継続)	16
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対マケドニアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 5.00 (86.9%)	技術協力 0.75 (13.1%)
---------------------------	-------------------------

### ● 保健医療分野 ●

#### 無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
医療機材整備計画	保健省病院健康保険・医療政策計画局	CRC 海外協力(株)	95	5.50	95.11.29	95.7(本) 95.9(報)	
<p>財政難や新ユーゴに対する国連制裁実施などに伴う経済的困難により、マケドニアでは老朽化した医療機材の更新ができず、住民への医療サービスに支障を来していることから、スコピエ大学医学部病院およびスコピエ市立病院に対し手術室用機材、検査用機材などの調達を行う。</p>							

# マルタ

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.23	2.16
	研修員受入 (人)	7(新規)+0(継続)	42
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	14
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	16
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対マルタODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

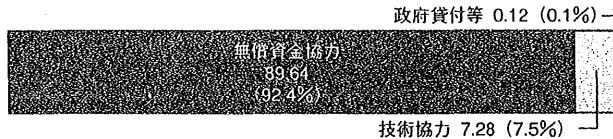


# ポーランド

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.50	36.45
有償資金協力 (億円)		0	213.92
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	3.85	32.40
	研修員受入 (人)	51(新規)+2(継続)	545
	専門家派遣 (人)	21(新規)+7(継続)	95
	調査団派遣 (人)	36(新規)+0(継続)	247
	協力隊派遣 (人)	7(新規)+15(継続)	27
	単独機材供与 (100万円)	12.35	92.76
	開発調査 (件)	2	6
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1

わが国の対ポーランドODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)



## ● 計画・行政分野 ●

### 機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
廃棄物処理管理用機材	一式	12,350	計画建設省	一般単独機材	研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
ポーランド・日本情報工 学大学 (当初R/D協力期間) 96.3.8～2001.3.7	95	事前調査	94年度までの 累 計	0	0	0
	95	長期調査	95年度	新規	5	0
	95	実施協議		継続	0	0
<p>&lt;要請背景&gt;</p> <p>ポーランドでは、1989年からの市場経済への移行に伴い、各セクターにおいて効率性・生産性の向上をめざし、コンピューターシステムの導入が積極的に進められており、特に最大の生産部門である製造業では、自動生産システムや情報処理システム等コンピューター関連技術の導入が顕著となっている。</p> <p>このような急速な情報化に対応するための人材育成は、今後のポーランド経済の発展に必要不可欠であるが、既存の大学は従来、理論的・数学的情報科学に重点を置いてきたため、社会の需要に合致した実践的コンピューター技術者育成が十分に行えない状況となっている。このためポーランド政府は、情報処理や情報工学の研究・教育に豊富な経験を有し、特にポーランド製造業が最も必要としているロボット技術の分野において世界一である日本に対し、実践的コンピューター技術教育を行うポーランド・日本情報工科大学の設立に対する支援を要請してきたものである。</p> <p>&lt;目標と期待される成果&gt;</p> <p>ポーランド・日本情報工科大学において、ポーランドでのコンピューター技術者に対する需要に適切に対応した実践的な情報工学分野の教育が提供される。</p> <p>(1) 全学生共通の基礎課程コース(3年間の教育課程のうち、前半1年半)および3コースのなかから1コース選択する専攻課程コース(後半1年半)。①経営コース、②情報通信工学コース、③AI制御工学コース)の教育プログラムが開発され、見直される。</p> <p>(2) 教師用および学生用の各種教材が開発される。</p> <p>(3) 開発された教育プログラムに沿って、教育に必要な施設および機材が、ロボット工学、人工知能、マルチメディア、データベース、ネットワーク、電子、言語の7つのラボラトリーに整備され、適切に操作、維持、管理される。</p> <p>(4) カウンターパートが、適切に各コースを実施できるようになる。</p>						

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
国鉄民営化支援計画	ポーランド政府の要請に基づき、同国市場経済化政策の一環である国鉄民営化プログラムをレビューし、近隣諸国との連携を含めた総合的な交通網体系を視野に置いた、最適の経営改善・民営化移行計画策定のための調査を実施する。1995年度は、本件実施細則締結のために事前調査を実施した。	運輸省	

マルタ/ポーランド◎ヨーロッパ等

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

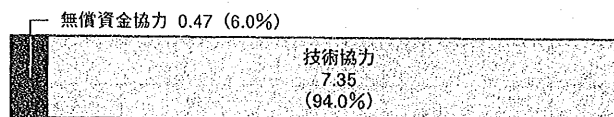
プロジェクト名	概要	相手国の調査回受先	調査業務受注企業名
国有企業リストラクチャリング計画	モデル企業の企業診断、リストラ計画の策定を実施することにより、ポーランド政府の進める国有企業改革、民営化計画を支援する。具体的な調査の目的は、①モデル企業としてPZL-Mielec Engine社の企業診断調査を行う、②国有企業リストラクチャリングを促進するための政策・制度の提言を行う、③調査の過程で、国有企業の生産性向上、企業経営改善をテーマとするセミナー等を通じた技術移転を行う、の3点である。1995年度は、予備調査、事前調査を実施し、実施細則を締結した。	商工省	

ルーマニア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.50	5.68
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	3.20	16.33
	研修員受入 (人)	61(新規)+1(継続)	205
	専門家派遣 (人)	6(新規)+1(継続)	21
	調査団派遣 (人)	27(新規)+0(継続)	146
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	81.67
	開発調査 (件)	3	4
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	0

わが国の対ルーマニアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)





● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ブカレスト市廃棄物処理計画	ルーマニアでは、都市化・工業化が進展する一方、革命以前の不十分な投資等のため、ゴミ問題を含む都市環境問題が深刻化している。本件は、ブカレスト市を対象として、廃棄物処理に関するマスタープランを策定し、優先プロジェクトについてフィージビリティ調査を実施する。また、フィージビリティ策定マニュアルおよび事業実施ガイドラインを作成する。1995年度は、マスタープランのなかの優先プロジェクトのフィージビリティ調査を行った。調査対象プロジェクトとしては、95年5月中旬までに、投資可能性を十分に踏まえたものを選定し、技術面、組織面、経済・財務面での検討を行い、計画を立案し最終報告書案に取りまとめ、ルーマニアとの協議結果を踏まえて最終報告書を作成した。	公共事業・地域計画省 ブカレスト市	(株)エックス都市研究所 八千代エンジニアリング(株)

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
灌漑システム改善計画 (当初R/O協力期間) 96.3.1~2001.2.28	94	事前調査	94年度までの 累 計	0	0	0
	95	長期調査		95年度	5	
	95	実施協議	新規		0	0
			継続	0	0	

<要請背景>

ルーマニアの年間降水量は550~600mmと少なく、特に6~8月の夏期は降雨がまったくなくともあり、田体制時より灌漑に対する意識が高い。しかし革命後の経済状況の悪化から、導入された灌漑施設・装置は更新がままならず老朽化が進み、灌漑効率が悪化している。また、1991年に発効した土地私有法により農地の分散所有が進められているが、個々の私有地農家の経営基盤が確立していないために灌漑利用者が少なく、小灌漑面積が散在している非効率な状況にある。そのため、灌漑システムのハードおよびソフト両面での改善を行うことが急務となっている。

<目標と期待される成果>

- (1) 基礎揚水機場から開水路を通して加圧機場までの区間の効率が改善される。
- (2) 加圧機場から散水器を稼働させる末端の配水バルブまでの区間の効率が改善される。
- (3) 散水支管から灌漑水が作物根に吸収されて消化されるまでの区間の効率が改善される。
- (4) 情報システムの改善がなされる。
- (5) 研修を通じての普及がなされる。

ルーマニア◎ヨーロッパ等

〈協力活動内容〉

- (1) 調査研究により数値的かつ具体的に抵抗率の現状を明らかにする。
- (2) 効率改善方法を提案し実証する。
- (3) 実用性が確認された方法をマニュアル等に編集する。
- (4) 普及のためのパイロット事業と研修を行う。

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ブランチェア県北東部地域灌漑整備計画	ルーマニア政府の要請に基づき、ブランチェア県北東部に位置するルジネシュティ=プフェシュティ=パンチウ地区(約4万8000ha)を対象とした灌漑整備計画およびそれに伴う農業開発計画のフィージビリティ調査を実施する。1995年度は、最終報告書を作成し、ルーマニア側に提出した。	農業・食糧省	(株)パンフィック コンサルタンツインター ナショナル (株)三祐コンサル ルタンツ
南部森林保全計画	近年、ルーマニアにおいては、長期にわたる旱魃や産業汚染が深刻化しているうえに、虫害や過放牧等によって、ルーマニア平原の森林が劣化している状況にある。さらに、カシ、ポプラ、ヤナギ等に立ち枯れ現象が発生しており、約3万5000haが深刻な状況にある。本件は、立ち枯れ現象が発生している同国南部のルーマニア平原を対象として森林劣化状況の評価を行い、森林再生等の計画策定に関する調査を実施するものである。1995年度は、事前(予備)調査を実施して要請内容の把握、実施調査方針の検討を行った。	ロムシルバ森林管理庁	

ロシア連邦

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.04	1.04
	研修員受入 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	専門家派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	2
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

## スロヴァキア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.48	0.96
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.54	2.51
	研修員受入 (人)	36(新規)+0(継続)	108
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	6
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	5
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	1
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対スロヴァキアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 1.17 (100%)
------------------------

## スロヴェニア

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
技術協力経費 (億円)		0.42	0.84
JICA 技術協力実績	研修員受入 (人)	10(新規)+0(継続)	25
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	1
	調査団派遣 (人)	16(新規)+0(継続)	16
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	1	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対スロヴェニアODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.13 (100%)
------------------------

● 計画・行政分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
マリポール市産業廃水予備処理および水使用合理化計画	スロヴェニア最大の工業都市マリポール市の工場廃水によるドラバ川の水質汚染は深刻である。この問題の解決のため、またEU型の厳しい廃水基準、環境基準を導入しようとしている同国にとって、工場内での廃水予備処理によって汚染レベルを低減しておくことは必須である。本件は、マリポール市の最適廃水処理および水使用合理化システムの作成・提言を行うものである。1995年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、着手報告書、進捗報告書を作成し、スロヴェニア政府に提出した。	マリポール市 環境省	朝造水促進センター

タジキスタン

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		0.10	0.10
有償資金協力 (億円)		0	0
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.21	1.04
	研修員受入 (人)	17(新規)+0(継続)	56
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対タジキスタンODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.28 (100%)
------------------------

# トルクメニスタン

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
JICA 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.24	1.07
	研修員受入 (人)	20(新規)+0(継続)	56
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	1	1
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対トルクメニスタンODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.49 (100%)
------------------------

## ● 公共・公益事業分野 ●

### 開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
道路網開発・維持管理システム	トルクメニスタン政府の要請に基づき、同国内の道路を対象に道路網の整備および維持管理に関するマスタープラン(目標年次：2015年)を策定し、そのなかで優先度の高い路線に対してフィージビリティ調査(目標年次：2005年)を実施する。1995年度は、事前調査を実施する予定であったが延期となった。	自動車道路建設会社	

# ウズベキスタン

(予算年度)

		1995年度	1995年度までの累計
無償資金協力 (億円)		18.30	34.27
有償資金協力 (億円)		127.00	127.00
技術協力経費 (億円)		4.34	8.90
JICA 技術協力実績	研修員受入 (人)	28(新規)+1(継続)	67
	専門家派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	4
	調査団派遣 (人)	63(新規)+0(継続)	97
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	2	3
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対ウズベキスタンODA(1995年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 9.83 (65.1%)	技術協力 5.27 (34.9%)
---------------------------	-------------------------

## ● 公共・公益事業分野 ●

### 開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
アラル海沿岸6都市給水計画	ウズベキスタン政府の要請に基づき、アラル海沿岸6都市(ムイナク、ウルゲンチ、ヌクス、ヒワ、チムベイ、クングランド)を対象とし、水質および給水事業の運営の改善を主な要素とする給水の基本計画を策定し、優先プロジェクトのフィージビリティ調査を実施する。1995年度は、優先プロジェクトのフィージビリティ調査(取水場改善、浄水場改善、送水施設改善)を行い、あわせて上水道、事業運営体の組織・経営に関する計画を提言し、最終報告書案を作成し、ウズベキスタンと協議ののち、最終報告書にまとめた。	公益事業省	(株)東京設計事務所 (株)協和コンサルタンツ

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省	(株)日本国際協 力システム	95	4.00	96.3.4	95.12(簡)	96.3(実)
<p>ウズベキスタンは、綿花から米への生産転換を進めているものの、生産量は順調な年で需要量の約7割といわれ、また1995年の収穫量が計画の約5割であった。このため、農機の投入により、現在の米の耕作面積を約2倍、また、単位面積当たりの収穫量を約3割向上させ、米の増産につなげることをめざしている。</p>							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
東ブカンタウ地域市場経済移行国支援資源開発調査	<p>現在の鉱山があと数年で終掘する見込みであることから、東ブカンタウ地域でタングステン鉱床を早期に開発して鉱石供給源として確立したいという意向をもつウズベキスタンに対し、鉱床学的ポテンシャルを検討、西側基準による再評価を行う。特にサウトバイのタングステン鉱床について鉱山開発計画を策定する。1995年度は、サウトバイ鉱床に対し、ボーリング調査により品位等の確認を行った。その結果、優勢なタングステンの鉱化作用が確認でき、さらに南東方向に連続している可能性が確認された。また、ブルトカン金鉱帯を中心に地質調査、物理探査、ボーリング調査を行った結果、数カ所で有望な金の鉱徴を確認できた。</p>	国家地質委員会	三井金属資源開発(株)

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小児科用医療機材整備計 画	対外経済関係 省	アイテック(株)	94	6.50	95.3.24		95.4(実) 95.7(実)
<p>ウズベキスタンでは、乳児死亡率が高く、小児科医療分野の改善が急務となっていることから、首都タシケント市のトップレベルの2つの小児科病院の医療サービスの向上を図るため、医療機材を購入する。</p>							
東部地域母子医療機材整 備計画	保健省	アイテック(株)	95	4.00	96.1.11	95.8(本)	
<p>ウズベキスタンでは、母子保健分野の医療体制の改善が急務となっており、特に人口密度が高く、緊要度が高い東部のフェルガナ盆地地域にある3つの母子保健病院の医療サービスの向上を図るため、医療機材を購入する。</p>							